

情 報 公 開 文 書

研究の名称	父親の育児参加と心理的ストレス(K6)の関連（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま 92,790 組 【研究の目的・意義】 妊産婦のメンタルヘルスに着目することは、母親の健康だけではなく子どもの健全な発育と発達につながることから意義深いと考えられます。母親の身近なサポート源と考えられる父親の育児参加が母親のメンタルヘルスに対してポジティブな効果を与えていると言われていますが、まだ不明な点も多く残されています。そこで本研究では父親の育児参加が乳児を持つ母親のメンタルヘルスと関連するかどうかを調査します。これにより、妊産婦の QOL(生活の質)の維持や向上に役立てることを目的とします。 【研究の方法】 出産前からお子さんが 1 歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。 【研究期間】 本学の研究倫理審査によって研究実施の承認を得てから 2023 年(令和 5 年)3 月 31 日まで 【研究結果の公表の方法】 本研究の成果は、関連する学会や学術雑誌で発表されます。 なお本研究の実施に際しては、利用する情報からお名前、住所などの個人情報 は削除いたします。研究成果の発表においても個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	妊娠中および産後 1 年時の母親の心理的ストレス(K6 質問票)、父親の育児参加、出産経験、母親(父親)の年齢、母親(父親)の教育歴、世帯収入、母親の雇用形態、婚姻状況、アルコール摂取、喫煙状況、妊娠中の運動量、母親の BMI、不安障害・うつ病・統合失調症・自律神経失調症の既往歴、新生児の身体異常、子の性別、同居家族、過去 1 年以内のストレスフルライフイベントの有無、父親の育児休業取得の有無、妊娠中の DV の有無など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076 (434) 7279 FAX 076 (434) 5023 E-mail keihama@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景